



夏野菜の準備中



ミニトマトの苗です。ゴマ粒のような小さな種を蒔くと1週間ぐらいで小さな芽を出します。更に2~3週間で本葉が出てきます。その姿を見ると「順調に育っているな〜」と嬉しくなります。



こちらはナスの苗。まだ双葉だけの1~2cmほどの高さですが、これからミニトマトのように本葉が出てきます。大きくなると樹のように太くなる茎も、最初は爪楊枝よりも細いんですね。

★夏野菜の種蒔きがスタートしています

しばらく寒い日が続きましたが、最近はとても暖かい日が続いていますね。あちこちで菜花が咲き乱れ、テントウムシも顔を出し始めました。

さて、そんな春らしい季節ですが、畑では既に夏野菜の準備が着々と進んでいます。3月上旬には5月に出荷するトンネル大根の種が蒔かれたり、6~7月に出荷するジャガイモの種芋が植え付けられました。

ちなみに夏野菜の定番であるミニトマトやナスなどはいつ頃種が蒔かれるか知っていますか？実は、まだまだ寒い2月20日頃に種が蒔かれているのです。もちろん夏野菜ですから寒さには弱いので、温かいハウスの中に苗床を置いて育てます。それにしても種蒔きから出荷まで約4ヶ月と育苗期間がとても長いのには驚かされます。

種まきから1ヶ月ほど経った高柳場長のハウスを覗いてみると、ミニトマトは本葉が出始めました。一方でナスはまだ双葉の段階です。ただ良く見ると、ミニトマトもナスも双葉の形がほぼ同じ。同じナス科なんだな〜ということがわかりますよね。本葉が出てきたら、苗床からポットに1つ1つ植え替えます。それから更に1ヶ月ほどかけて丈夫な苗に育ててから、畑に植え付けます。4月頭にはカボチャの種まきなど、夏野菜の育苗作業が続きます。夏の実りへ向けて小さな種が続々と蒔かれる季節です。

おかげさま農場は、「食は命」をテーマにしています。化学合成農薬や化学肥料を使わないことを基本としています。

【産地情報】

◎紅はるかが終わりました。千葉紅は糖化が進んで、しっとり甘くとても美味しいですよ。

◎里芋は注文量にもよりますが、4月1~2週で終了予定です。